

No.	会議体	計画名	該当ページ			修正意見、または主な意見	市の対応方針
1	第3回国土審	国土利用	21			ゼロカーボンシティの実現に向けた具体的な施策について、国土利用計画にも同じように記述すべきではないか。	脱炭素を含め ゼロカーボンシティの取り組みを記載 させていただいております。 (→都市マスP81、主な改定ポイント⑤)
2	第3回国土審	都市マス	31			洪水浸水想定区域(計画規模)について、対象としている河川を注釈で記載したほうが良い。	ご指摘のとおり、 注釈に対象としている河川名を都市マスに追記 しました。
3	第3回国土審	都市マス	63			中心拠点周辺の線路を高架にすることで渋滞を解消し、事故も無くせるのではないか。駅近くの踏切は待ち時間も長い。交通の課題解決は優先すべきであり、計画に方向性を記述すべきではないか。	渋滞の解消という意味で、高架化という具体的な策を計画に記述するのは難しいです。しかし、まちなかの歩きやすさ(ウォーカブル)や、都市計画道路の整備など 複合的な施策により交通課題を解決する という方向性で計画を策定しています。
4	第3回国土審	都市マス	63			赤間駅周辺の交通問題について指摘	道路の拡幅やJRを挟んだ南北の行き来の改善が必要です。 都市マス4章1節「③中心拠点等の活性化に資する道路空間の強化」として方針に位置づけ をおこなっています。
5	第3回国土審	都市マス	66	67		都市計画道路の整備において、教育大前駅から3号線に続く都市計画道路が、2車線になっている。ここは教育大の学生や特別支援学校の学生の多くが通る区間であるため、道路の拡幅が必要なのではないか	4章 2)アの部分と図が整合がとれるように、 いままでは教育大前までしか都市内中心軸となっていなかったものを国道3号まで伸ばしました。 ご指摘の道路は2車線の都市計画道路として位置づけられており幅広な歩道とともに整備されている状況です。
6	第3回国土審	立適	72	74 77	76 78	中心拠点および拠点の凡例が図と形が違いため、楕円から○に修正したほうが良い。	ご指摘のとおり修正しました。
7	第3回国土審	立適	76	77	78	広域交流軸の図に誤りがある。(教育大前から岡垣町にかけての軸)	誤りを修正しました。
8	第3回国土審	立適	106	107		居住誘導に関する施策において、「住マイむなかた」以外にも空家関連ビジネスの事業をしている事業者はいる。	全ての事業者を列記することは難しいため、主な団体として「一般社団法人住マイむなかた」としております。それ以外の団体を「 関係事業者 」という表現を用いることにしました。
9	第3回国土審	立適	109			目標値について、次期計画の誘導区域内の人口は、基準値においても算出したほうが比較しやすいのではないか。	目標値の算出方法について、策定時点の将来推計人口(H25)と見直し時点の 将来推計人口(R5)等の傾向などを踏まえ よりわかりやすく 説明する文言を計画本編に追記 しました。
10	第3回国土審	立適	122			洪水浸水想定区域(計画規模)について、対象としている河川を注釈で記載したほうが良い。	ご指摘のとおり、 注釈に対象としている河川名を立地適正化計画、都市マスともに追記 しました。
11	第3回国土審	立適	146			概要版に記載のあった、防災指針でさまざまな分析に使用している「玄海エリア」・「玄海東エリア」などのエリア設定の仕方について、コミュニティの地区でもないため、どの地域がどのエリアに属するか分かりにくい。	ご指摘を踏まえ、コミュニティの地区との混同を防ぐために エリアの名称を変更 しました。また、計画本編のみエリア図掲載していなかったため、概要版にもエリア図をつけることとしました。
12	第3回国土審	立適	153			防災指針について、マイクロ分析を行った結果が地図のエリア名称とあっていないこと(JR東郷駅周辺エリアに多禮地区が含まれている)や、取組施策の区分に防災上の課題の整理で、内容に整合が取れていない箇所がある。	ご指摘を踏まえ、取組施策において、 エリアの図郭(地図の区画)で整理するのではなく、個別具体的に施策ごとにまとめる など整理を行いました。
13	第3回国土審	立適	153			近年、猛暑が続いているため、いろんな事業者が実施している気温に関する取組についても、災害についても、防災指針に記載すべきではないか。人口が集約することで、ヒートアイランド現象の発生も考えられる。	災害としての「猛暑」の観点は非常に重要です。猛暑のような環境にならないよう 脱炭素の施策として都市マスに位置づける こととしております。(都市マスP81、主な改定ポイント⑤)